



学校環境緑化の日

緑育心のルーツは水害による校舎移転にあった!

本校は昭和46年、現在の高台へ校舎を移転しました。移転当初は建設工事より山肌は削り取られ、砂埃舞う荒涼とした敷地であったといえます。そこで、学校緑化十カ年計画を樹立し、生徒・教員・地域住民が一体となって環境緑化に挑みました。そして、昭和56年の全日本学校環境緑化コンクールで特選を受賞、昭和60年には緑化推進運動功労者として内閣総理大臣賞を受賞しました。緑化活動でこのような高い評価を受けた記念として建てられたのが、生徒玄関脇にある石碑です。緑育心には、「緑は心育てる」というメッセージが込められています。学校環境緑化の日もこの時に設定されました。



校内の環境整備 学級分会活動

昭和48年からは、緑育心を校外でも発揮するようになりました。それが出身地区へ出向き、環境美化に取り組む地区分会活動の現在のスタイルです。平成16年から学校単独で行っていたものを「青い森鉄道利用促進協議会」と「沿線地元組織会の方々」と連携して、全ての沿線各駅において環境整備事業を一堂に展開したのです。環境美化活動を得意とする私たちが地域から求められた証です。



地区分会活動 出身地区を花やかに

昭和、平成、令和と時代を越えて催される地域に根ざした活動

51年目の伝統行事